

General Information

江角学びの交流センター活動報告

平成25年度活動報告

江角学びの交流センター

1 地域人間科学研究所

平成25年度より、共修講座「かごしま学」の1コマを公開講義として一般にも公開する運びとなった。実施状況は下記のとおりである。

実施状況

共修講座「かごしま学」公開講義

演題：鹿児島から世界へー郷土の誇るべき自然ー

講師：大木公彦氏（鹿児島大学名誉教授）

日時：平成25年6月13日（木）14:50～16:20

会場：本学大講義室（入場無料）

主催：鹿児島純心女子短期大学

共催：江角学びの交流センター・地域人間科学研究所

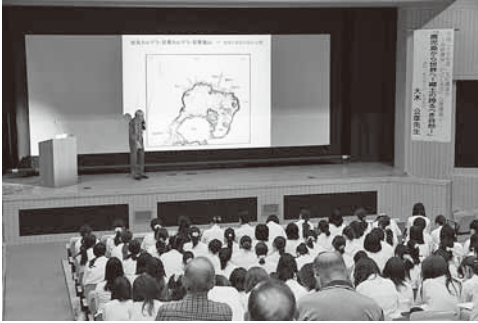
対象：本学学生・学園教職員・一般

入場者数：約150名

概要

鹿児島には素晴らしい自然遺産がある。世界自然遺産・国立公園屋久島、日本ジオパーク霧島そして霧島錦江湾国立公園、またラムサール条約で保護されている火口湖の蘭牟田池や万之瀬川河口などいずれも世界に誇るべき自然である。なぜ深い錦江湾があり、そこで桜島が噴火活動が続けているのか等、鹿児島の様々な自然の成り立ちについて説明された。さらに鹿児島の歴史・文化・産業の成り立ちも、多様な動植物を育むこれらの自然の影響があることを示された。

講義の様子



なお、講義の詳細については、本誌「特別講演」として掲載することができた。当日来られなかった読者にも広くその講義内容を伝えることができれば幸いである。ご執筆の労をいただいた大木公彦氏をはじめ、当日足をお運びいただいた皆様に感謝申し上げたい。

2 生涯学習支援室

「純心市民講座」は例年どおり開講することができた。開講講座および受講者数は下記のとおりである（表1参照）。受講者はほぼ定員を満たし、リピーターも定着してきた。今後も「研究」「教育」とともに、「地域貢献」に努めることを大学の使命として肝に銘じたい。生涯学習の視点で、さらに多くの方々の参加を切望する。

「開かれた大学」をめざし創設した共修講座（本学の正規授業を一般にも公開する講座）は5年を経過した。平日の昼間という時間帯にもかかわらず、少ないながら一般の受講生がある。社会人の学びなおしやシルバー世代の向学心に応えられるような開講科目を常に検討し、さらなる拡充に努めるとともに、広報活動を活発にする必要がある。

「はじめての英会話」や「親子でクッキング」等の料理講座には、本学英語科と食物栄養専攻の学生たちが、ボランティア・アシスタントとして運営に携わっている。学生たちにとっては専門教育の実践的な教習の役割を果たすとともに、学生の社会活動への参画を促し地域との交流を推進する点で、本学の社会貢献の一つとして意義深いものである。

今後とも「純心市民講座」が本学の研究・教育機能を活性化するとと

想林第5号

もに、市民の生涯学習に寄与し、本学と地域社会との交流の橋渡しとなることを切に願う次第である。

表1 平成25年度 純心市民講座実施状況

講座区分	講座名	担当講師	対象	定員	受講者数	会場
共修講座 (一般教養)	かごしま学 前期 木曜 14時50分～16時20分 ※フィールドワーク6/22、6/29(午前中) (全15回)	中野 翠 橋村 健一 小川 学夫 大木 公彦 伊集院 久信 河野 一典	一般成人	10名	0名	本学 2号館308教室
	生命と環境 前期 月曜 10時40分～12時10分 (全15回)	櫻井 真	一般成人	10名	0名	本学 2号館308教室
	哲学Ⅰ 前期 月曜 10時40分～12時10分 (全15回)	河野 一典	一般成人	10名	0名	本学 27号館318教室
	哲学Ⅱ 後期 月曜 10時40分～12時10分 (全15回)	河野 一典	一般成人	10名	0名	本学 10号館307教室
	人間学 後期 水曜 13時10分～16時20分 (全15回)	奥村 和滋	一般成人	10名	2名	本学 27号館303教室
人間大学 (かごしま県 民大学連携講 座)	現代を生きる知恵 土曜 13時半～15時半 7/6～9/21 (全6回)	河野 一典	一般の方	20名	延べ49名	かごしま県民交 流センター
		小玉 智治				
		奥村 和滋				
		小玉 智治				
		河野 一典 奥村 和滋				
外国語講座	英会話 初級 (春季) 5/22～7/24 水曜 18時半～20時 (全10回)	Jenna Lenz	15歳以上 の方	10名	12名	鴨池公民館 (第1研修室A)
	英会話 中級 (春季) 5/21～7/23 火曜 18時半～20時 (全10回)	Alia Pugh	15歳以上 の方	10名	11名	鴨池公民館 (第1研修室A)
	英会話 上級 (春季) 5/21～7/23 火曜 18時半～20時 (全10回)	Sonya Govey	18歳以上 の方	10名	11名	鴨池公民館 (第1研修室B)
	英会話 初級 (秋季) 9/25～11/27 水曜 18時半～20時 (全10回)	Jenna Lenz	15歳以上 の方	10名	10名	鴨池公民館 (第1研修室A)
	英会話 中級 (秋季) 9/24～11/25 火曜 18時半～20時 (全10回)	Alia Pugh	15歳以上 の方	10名	11名	鴨池公民館 (第1研修室A)
	英会話 上級 (秋季) 9/24～11/25 火曜 18時半～20時 (全10回)	Sonya Govey	18歳以上 の方	10名	8名	鴨池公民館 (第1研修室B)

平成25年度活動報告

外国語講座	はじめての英会話（幼児コース・春季） 6/22～7/27 土曜 ①4歳児コース 9時～9時50分 ②5・6歳児コース 10時～10時50分 （各コース 全6回）	John Tremarco	就学前の児童 （4～6歳）	①10名 ②12名	①11名 ② 8名	本学 江角学びの交流センター ブレイルーム または27号館 318教室
	はじめての英会話（幼児コース・秋季） 10/5～11/16 土曜 ①4歳児コース 9時～9時50分 ②5・6歳児コース 10時～10時50分 （各コース 全6回）				①15名 ② 7名	
	はじめての英会話（小学生コース・春季） 6/22～7/27 土曜 ①初心者コース 9時～9時50分 ②発展コース 10時～10時50分 （各コース 全6回）	Alia Pugh	小学生	①15名 ②15名	①16名 ② 6名	本学 10号館401教室
	はじめての英会話（小学生コース・秋季） 10/5～11/16 土曜 ①初心者コース 9時～9時50分 ②発展コース 10時～10時50分 （各コース 全6回）				①15名 ② 7名	
生活学講座	親子でクッキング 8/10 10時～13時	進藤 智子	小学生の親子	15組 40名	13組 34名	本学 調理室 （1号館101教室）
	家庭で簡単 おもてなし料理 11/16 10時～13時	大山 典子	一般成人	20名	17名	本学 調理室 （1号館101教室）

（文責 河野一典）

3 こどもの未来支援室

「こどもの未来支援室」では、子育て支援への取組みの一環として、平成25年度は下記の通り「純心こども講座」を企画・実施した。昨年度同様、本学体育館を使ったダイナミックな活動が経験できる「リズムあそび」と、切る・貼る・塗る・組み立てるといった活動から、自分だけの作品を作り上げる「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」の各講座を月に1回のペースで実施した。また、これらの講座に参加していただいた方を対象にした「親子のお楽しみクリスマス会」では、クリスマスについてのお話、サンタクロースの制作、こどもバンドの演奏等を実施した。



1. リズムあそび



2. いろとあそぼう・かたちとあそぼう



3. 親子のお楽しみクリスマス会

表2 純心こども講座実施状況

講座名	回	期日	担当講師	定員	受講者数	会場
リズムあそび	1	5月11日	吉留早木子	親子 50組	41名 35組	本学 体育館
	2	6月1日			46名 34組	
	3	7月6日			43名 30組	
	4	8月3日			48名 32組	
いろとあそぼう・ かたちとあそぼう	1	5月18日	柳井谷夏絵	親子 20組	31名 20組	本学 ブレイルーム
	2	6月15日			24名 14組	
	3	7月13日			26名 15組	
	4	9月28日			25名 15組	
親子のお楽しみクリ スマス会		12月7日	学生 江角学びの交流 センタースタッ フ	50組	34名 25組	本学音楽室 (27-606)

注1) 対象：就学前の幼児（2歳～6歳）とその保護者

注2) 会場：本学体育館（リズムあそび）

本学ブレイルーム（いろとあそぼう・かたちとあそぼう）

本学オーディオルーム（親子のお楽しみクリスマス会）

表2に示した受講者数は、参加者のうち子どもの数を示している。参加組数に対して子ども数が多いのは、各回ともにきょうだいで参加があったためである。この「きょうだい」での参加は、平成14年度に「純

心こども講座」をスタートさせて以来、本講座でのこだわりのひとつで、主催者側としては、「ママやパパを独占する機会」を提供したいという思いがある。

きょうだいで参加しやすい工夫としては、子どもの人数に限らず「1組」として参加いただけるシステムを採用していることと、保育士や幼稚園教諭を目指す本学こども学専攻の学生が指導補助員として関わっていることが挙げられる。実際に学生たちに上もしくは下のお子さんを任せ、一人のお子さんとじっくり関わる機会にされている方も少なくない。きょうだいがいるからこそ「ママやパパを独占したい（されたい）」という思いに応えることができ嬉しく思っている。



6月の飾り付け



たくさん釣れたよ！

先に述べたように、「リズムあそび」や「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」の講座では、本学のこども学専攻の学生が担当講師の助言を受けながら、講座の企画・運営を担当している。各回ともに、担当した学生の工夫が活かされた活動となっている。活動の内容はもちろんのこと、季節や講座のテーマに合わせて学生が作成する会場の飾り付けも毎回好評で、「欲しいおともだちはどうぞ」のアナウンスが会場に流れると、お目当ての飾りを持ち帰ろうと子どもたちが集まってきてくれる。子どもと学生の間にかわされる、保護者やきょうだい、幼稚園や保育園の先生とも違う存在との間の「ありがとう」や「大事にするね」のやり取り、誰かの為に準備したことがきちんと誰かの喜びにつながる体験、

こうしたちょっとした場面の中にも、地域あるいは異世代間の交流の姿を見る事ができる。

平成25年度も「リズムあそび」と「いろとあそぼう・かたちとあそぼう」の2種類の講座に、多くの方々にご参加いただいた。平成14年にスタートした「純心こども講座」は早くも12年目を迎え、「こども講座」や「リズム」、「いろ・かたち」などの愛称で親しまれ、定着してきている。この事業は、地域に開かれた講座であるとともに、保育者を目指す学生達の学びの場でもある。こうした性格の講座を続けてこられたのは、参加してくださる地域の皆様のおかげである。単に、講座を提供するだけでなく保護者の方同士の結びつきや、親子の関わりを深める機会になるよう今後も企画・運営していきたい。最後に、「純心こども講座」にご参加いただいた方々、学生、スタッフに感謝申し上げたい。

(文責 森木朋佳)